



愛美会ニュース

2004.12 NO.4 愛美会企画部
愛媛県四国中央市上分町乙8-2 TEL 0896-56-2333
<http://www.11.plala.or.jp/aibikai/>

社会福祉法人 愛美会

介護老人福祉施設 樋谷荘
介護老人保健施設 アイリス
ケアハウス 虹の里
グループホーム 虹の里

第15回 樋谷まつり 来場者数 約3,500名!!

十一月七日(日)、清々しい秋晴れのもと、「第十五回樋谷まつり」が華やかに開催されました。
ご来賓には、四国中央市市長 井原巧氏の代理として、同助役 藤田勝志氏をはじめ、愛媛県議会議員 篠原実氏、同 鈴木俊広氏、同 森高康行氏等四十三名の皆様にご出席頂き、格式高いセレモニーとなりました。
開会式では、理事長より「石川病院グループのご利用者の方々をはじめ、地域の皆様方の笑顔が私どもの何よりの喜びです。この樋谷まつりにご参加いただいたいております、多数のボランティアの皆様とのふれあい、そして職員同志の助け合いを通じて、今日一日爽りのあるものになること

(石川理事長 開会式挨拶)



(鏡割りの風景)



(新鮮野菜が大好評!!)

(買えなかった方、ごめんなさい。)

を願っています。」との挨拶がありました。
今年には相次ぐ台風の影響もあり、野菜の値段が高騰した為、石川病院農園自家栽培、産直無農薬新鮮野菜の樋谷農園に例年以上の行列が…。
「押すな！押すな！」の人だかりで販売開始約二十分での完売記録となりました。
又、今年新たに親友会コーナーで販売された、純国産の松茸をふんだんに使った出来たてホヤホヤの「釜吹き松茸ご飯」も大好評。会場ではなんともいえない松茸の香りに食欲をそそられ、あっという間に完売。
特設コーナーの無料お抹茶席では、今年も国際ソロプチミストイースト

(至福のひととき お抹茶コーナー)



愛媛、イースト愛媛ベンチャークラブから三十名のボランティアの方による見事なお手前とおもてなしをいただきました。
又、秋を彩った会場の雰囲気と調和し、まさに、「しっとりとした癒しの世界」を作り出していました。
こうして、今年も大盛況のもと無事終わる事が出来た第十五回樋谷まつりですが、毎年盛大に開催することが出来るのも、皆様方のお力添えあつてのことだと感謝しております。
これからも地域福祉の代表選手になれるよう努力していきたいと思っております。



(ボランティアの皆様、職員を囲んで…)

老人福祉施設の全国研究会議にて樋谷荘が5つのテーマで発表!!



(発表する介護福祉士の石田さん)

11月10日・11日の2日間、松山市の愛媛県武道館や市内の各ホテルにおいて全国老人福祉施設研究会議 愛媛会議が開催され、全国から約4,500人の関係者が参加しました。

地元開催ということで、樋谷荘からも実行委員として1名、分科会発表者として5名が参加しました。

県内からも特養だけでなく、介護老人ホームやデイサービスセンターからも多くの発表が寄せられましたが、樋谷荘からは、県内で一番多い5題の発表を行いました。

日頃の施設での取り組みを、チームごとに何度も打合せし、原稿をまとめ、それをチームの代表者が発表しました。

発表者は、チームの皆の思いを胸に、堂々と落ち着いて発表し、会場からも沢山の拍手を戴きました。

また、全国の施設の様々な取り組みにも触れることができ、より、ご利用者の皆様に満足していただくためには、今以上に日頃の業務への問題意識を高め、新しいことにチャレンジして行かなければならないと、決意を新たにする機会にもなりました。

サービスの質の向上に繋げられるようこれからも努力して行きたいと思えます。



(質疑にも落ち着いて答え、一安心。
介護福祉士の井原さん)

今回の発表内容は以下の通りです。

第7分科会 「口腔ケアへの取り組み」	発表者：介護職員 石田理恵
第7分科会 「嗜好に配慮した食事提供を目指して」	発表者：管理栄養士 三宅千秋
第12分科会 「残存機能活用によるその人らしい生活の実現」	発表者：介護職員 井原祥子
第15分科会 「365歩のリハビリマーチ」	発表者：介護職員 鈴木奈々
第15分科会 「The お出かけ ～お出かけこそわが人生～」	発表者：介護職員 佐々木綾子

第15回全国介護老人保健施設大会にてアイリスより4題発表!!



(発表風景)

「ゆっくり生きませ長寿社会」～あなたと私の未来、豊かな老後、明るい社会～をメイン・テーマに、今後の介護老人保健施設がどのような施設として位置づけられるのか、在宅支援を提唱し努力してきたこれまでの実績がどのように評価されるのか、そして介護保険制度における介護保険3施設がどの方向に進むのかが決まる時期に開催される、大変重要な大会であると思い、今回アイリスからも4題の研究成果を発表致しました。それぞれの発表された取り組みなどについてご紹介します。

『風呂場に響いた孫の声』～浴室改修で見えてきたもの～

発表者：介護副主任 大西 裕子

限られたスペースの中での浴室改修をすることにより、今までの出来ない所を完璧にする関わりではなく、見つめて欲しい所に目を配る介護の重要性に気付き、意識改革の第一歩となり得た事例について報告しました。

『その人らしく生きること』

発表者：看護師 頭師 千代

当施設に隣接しているケアハウスで過ごされていた方が、高齢・様々な要因から介護が必要となり入所され、ターミナルケアとなり携わった事例と、現在ターミナルケアに携わっている入所者の経過を報告しました。

『口腔・嚥下機能改善とともに表情豊かに』

発表者：看護師 森実 里美

脳内出血の為、経口摂取困難・胃ろう造設しているご利用者に対し、口腔ケアを目的としたチームアプローチにてケア・リハビリを実施した結果を報告しました。

M氏の言葉 『見よらんでええよ』

発表者：介護副主任 土肥 里栄

身体拘束廃止に取り組み『目に見える拘束』はなくなったが、言葉などの『目に見えない拘束』が存在することに気付いた。接遇委員会を発足し、接遇面の重要性を再認識し、今後のケアのありかたを考え、報告しました。

第11回全国老人デイ・ケア研究大会にて 通所リハビリテーションアイリスより1題発表!!

「地域にくらす…活動と参加の再考」をテーマに、北九州小倉で開催されたリハビリテーション合同研究大会に、通所リハビリテーション事業所 アイリスから1題の研究成果を発表致しました。

『利用者の心と身体を動かすサポートリハビリ』

発表者：介護 伊藤 彩

昨年より、60～70代の若年層、特に男性のご利用者が増加している。そんな男性数名のご利用者から通常のリハビリに加えて、もう少し体を動かせば歩けるようになるのではないのかという切実な願いに応える形でスタートした「サポートリハビリ」の内容を、報告しました。

六地蔵尊法要開催!!

ケアハウスの建物北側には、虹の里、樋谷荘、アイリス入居者皆さんの健康と幸せを願い、六地蔵尊が建立されています。お地蔵さん一体一体の顔はとても穏やかで、そして、にこやかに入居者の皆さんを見守っています。毎朝、六地蔵さんに手を合わせる入居者の姿を見て、本当に六地蔵尊が建立されてよかったと思います。

平成7年4月に開眼供養を行って以来、今年で10回目の記念すべき法要でしたが、あいにくの雨模様の為、ケアハウスのロビーで行うことになりました。定蓮寺の住職、副住職を迎え、多数の入居者が参列し、手を合わせていました。

人は時として、何かに頼りたくなることがあります。そんな時、何でも相談できる職員や仲間、そして、いつも見守っていてくれる六地蔵尊。そんな安心と安らぎがケアハウスにはあります。日曜・祝祭日に関係なく、いつでも気軽に見学することができますので、是非一度、施設見学を兼ねて六地蔵尊をお参り下さい。

入居に関する詳しいお問い合わせは下記担当者までどうぞ。



※ケアハウスのロビーで初めての六地蔵法要

☆ ケアハウス虹の里 ☆ TEL 58-0012 担当：児山・星川

グループホーム虹の里(愛美会)いしがわ(石川病院)合同屋外行事!!



※合同そうめん流し大会

グループホーム虹の里では、去る9月14日に、すぐ下側にあるグループホームいしがわの入居者と職員を招き、そうめん流しを行ないました。

日頃からお互いに交流があるので、誘いの返答にも「そしたら、うちは薬味を準備させてもらうわ」という具合で、総勢30名が箸と器を手に流れるそうめんを囲みました。「取れたでー」「取れんわー」と賑やかなひと時を過ごし、ついでお腹を満たすことができ、大変喜ばれました。

天気の良い日は、ぼかぼか陽気に誘われ、外へ食事に出掛けることもあります。

食事は、その場の雰囲気や場所によって楽しみ方も変わり、日々の生活に彩りを添えてくれると同時に、入居者にとって外で過ごす時間は一番の気分転換になります。一人一人が、店員さんに好きな物を注文する時の笑顔は、普段の生活の中では、なかなか見ることができません。

これからは、食事以外でも外出の機会を多くとり、地域との交流の場を少しでも広げていきたいと思えます。



※くるくる寿司での食事風景

ケアハウス・グループホーム 虹の里